



®環境省

エコアクション21

認証番号 0013935

2024年度 環境経営レポート

対象期間 2024年6月1日～2025年5月31日

発行日：2025年8月1日

大阪・上本町



株式
会社

山田念珠堂

YAMADA NENJUDO CO., LTD.

株式会社山田念珠堂



ごあいさつ

株式会社山田念珠堂は創立から160周年を迎えました。我々は貝細工や珊瑚を加工し、髪飾りを生業としていたのが起源で、簪（かんざし）の先に飾りとして付けられる珊瑚玉の加工も主な仕事でした。それらの玉類を商店に卸していましたが、卸先が数珠を販売していたことから、創業者が大阪の数珠屋で修業し、数珠の製造卸売りを始め、現在に至ります。数珠を持たれる方が、数珠を持つことで様々な悲しみや困難を乗り越え、幸せだと感じられる人生を歩まれることを、山田念珠堂は心から祈り、製作に関わる一人ひとりの職人は皆様の幸せを念じながら、数珠を組んでいます。我々は人の心に寄り添う商材を提供することで社会に貢献していきたいと考えております。

その一環として、限りある資源を大切に、未来の世代に心身ともに安心した豊かな環境と残すために、エコアクション21に取り組んでいきます。今後も、人の心に寄り添い且つ生産性の高い念珠づくりを目指し、日々邁進してまいります。

目次

環境経営方針

ごあいさつ	1
環境経営方針	3
沿革	4

事業内容

念珠製造セクション	5
線香セクション	5
専門店・寺院卸セクション	6
百貨店卸セクション	6

実績と取組み結果

組織の概要	7
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7
認証・登録の対象組織・活動	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の計画	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果，並びに違反，訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12

さいごに

代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

環境経営方針

環境経営理念

当社は今後も継続して経営活動を行うことにおいて地球環境の保全は最重要課題であると考えております。そして、本業である念珠の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。



5. 環境に配慮した製品をお客様にお届けします。



6. 従業員にやりがい・成長・安心感を与えられるような職場環境づくりに努めます。



7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2022年11月15日
代表取締役 山田 雅己

沿革

1861年 現在の大阪市阿倍野区にかざり商人初代山田常吉が
「常(カンツネ)」として貝細工、木玉類を販売

1877年 現在の玉造(大阪市天王寺区)に数珠の製造を開始



釈迦梵天 (登録商標)



弥勒房 (登録商標)

1939年 「山田念珠堂」と屋号を改名

1946年 上本町へ移設

1964年 本社ビル竣工



1964年当時の本社



2023年現在の本社

1998年 弊社オリジナル線香「眞山」(大阪府伝統工芸品)の取扱い開始



オリジナル線香「眞山」

2001年 在阪百貨店(高島屋3店舗 阪急阪神5店舗 近鉄4店舗)とお取引開始
サロン あさん堂本店ショールームの開設



あさん堂本店

2009年 結納用品の取扱い開始。慶弔一環のしきたりサロンを開始

2012年 第1回数珠供養を開始(大阪四天王寺にて)

2023年 関西の百貨店を中心に26店舗展開



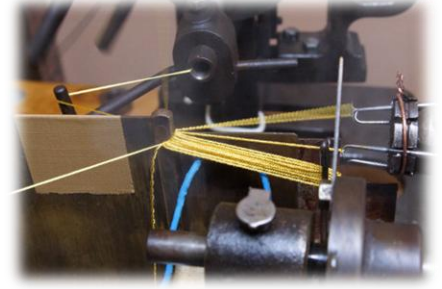
数珠供養(毎年10月10日開催)

主な事業内容

①念珠製造セクション

創業時から国産念珠にこだわり、念珠の原料入手から加工 製品仕上げまでを一貫した体制で生産するシステムを構築しています。

工程ごとに伝統的な職人技による手作業や、近代的な機械作業などを取り入れ、伝統と近代の複合力を活かし、高品質で均一化された精度の高い製品を量産することが可能となっています。



②線香セクション

オリジナル線香「眞山(しんざん)」シリーズは大阪府知事指定の伝統工芸品「堺線香」です。堺は線香の発祥の地とされており、その堺の伝統工芸士を擁する老舗工房とのコラボレーションにより「眞山」は誕生しました。

伝統ある製法と時代にあわせた創意で調合された「眞山」は厳選された天然素材の良さを余すことなく引き出した香りの芸術品とも言えます。百貨店や寺院など、幅広い客層の皆様からご愛顧いただいています。伽羅、沈香、白檀といった伝統的な漢薬材料を用いたお線香から、花の香のお線香や春夏秋冬の季節をテーマにしたお線香など、豊富に取り揃えております。



③専門店・寺院セクション

全国の専門店・商社100社以上のお得意先様、また、全国の総本山をはじめとした寺院とお取引させていただいています。一般の方向けの略式の数珠から寺院向けの専門的な本連数珠まで扱い、全ての宗派に対応しています。

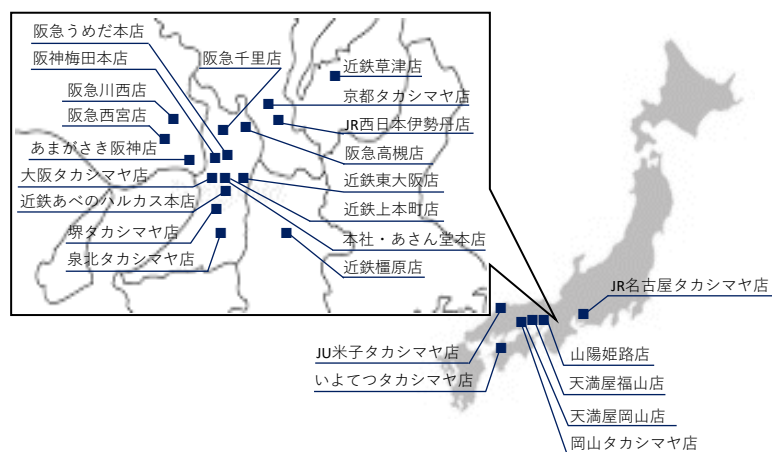
企画、製造、販売と一貫して行い、細かなご要望にお応えするだけでなく、専門的なご相談にも対応し、各所より信頼を頂いております。

数珠だけに留まらず、多岐にわたる企画商品も提案し、大切な記念品のご要望もカタチにし、多数納めさせて頂いております。

④百貨店セクション

関西エリアを中心に、百貨店へ「あさん堂」という屋号で26店舗を展開。命名紙・お宮参り・結納品などから仏壇・仏具なども取り扱う「しきたりサロン」も展開しております。

大切な方の人生の節目、そして、皆様の心のよりどころを支えるお手伝いをさせていただきます。



高島屋大阪店



あべのハルカス
近鉄本店



阪急うめだ本店



阪神梅田本店



あさん堂本店



組織の概要

名称及び代表者名

株式会社山田念珠堂

代表取締役 山田 雅己

所在地

本社 大阪府大阪市天王寺区

東高津町6-13

事業内容

仏壇仏具結納用品の製造卸及び販売

事業の規模

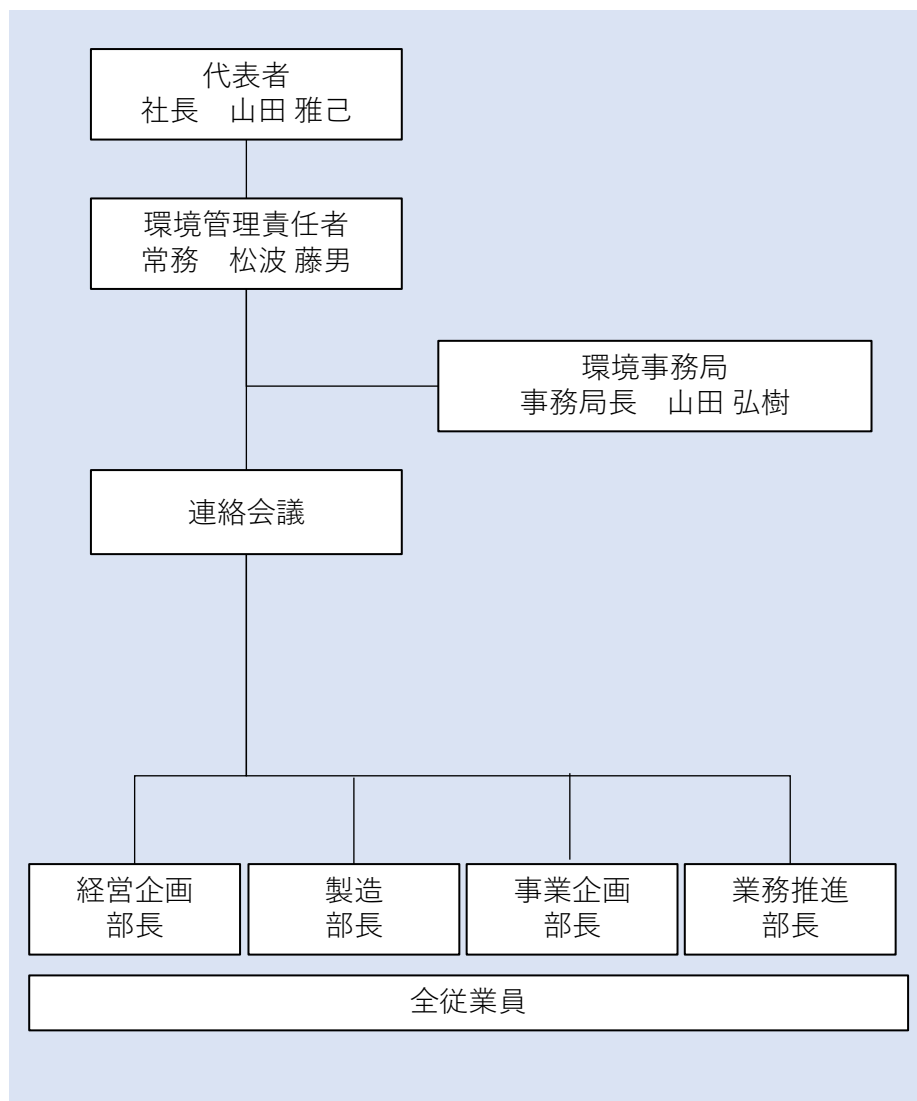
従業員 118名

延べ面積 800㎡

事業年度

6月1日～5月31日

環境経営組織及び 役割・責任・権限



認証・登録の 対象組織・活動

登録組織名

株式会社山田念珠堂

対象事業所

本社ビル・各百貨店店舗

対象外

なし

活動

仏壇仏具結納用品の製造卸及び販売






	役割・権限・責任
代表者	必要な経営資源を準備 環境経営方針の策定・見直し 全体の評価と見直し、指示
環境経営責任者	環境に関する実行責任者
環境事務局	環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 各種帳票の作成・データの取りまとめ 環境経営目標・計画書案の作成 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境委員会	環境経営計画の審議
従業員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚

主な環境負荷の実績 (過去直近3年)

項目	単位	2021年度 (基準年度)	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素出総量	kg-CO ₂	53,320	43,228	36,505	39,777	
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	2,340	2,065	2,385	2,191
	産業廃棄物排出量	kg	28,400	9,200	12,800	11,653
水使用量	m ³	659	572	591	629	

※二酸化炭素排出係数 0.351kg-CO₂/kWh(関西電力の2021年度調整後の係数)

2024年度環境経営目標及びその実績と次年度の計画

項目	年度	2021年度	2024年度		達成 目標	2025年度	2026年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
 電力による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	28,088	24,437	26,688	×	23,875	23,735
	基準年度比		87%	95%		85%	85%
	kg-CO ₂ /千円 (売上高原単位)	0.031	0.027	0.031	×	0.027	0.027
 自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,232	19,429	13,089	○	18,924	18,798
	基準年度比		77%	52%		75%	75%
	kg-CO ₂ /千円 (売上高原単位)	0.025	0.019	0.015	○	0.018	0.018
上記二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		53,320	43,865	39,777	○	42,799	42,532
 一般廃棄物の削減	kg	2,340	2,176	2,191	×	2,153	2,141
	基準年度比		93%	94%		92%	92%
 複合機出力枚数削減	枚	157,809	143,606	105,458	○	134,138	132,560
	基準年度比	2022年度	91%	67%		85%	84%
 水道水の削減	m ³	659	593	629	×	586	583
	基準年度比		92%	90%		89%	89%
環境に配慮したサービスへの取り組み		行動目標(事項による)					
課題を解決しチャンスを活かす活動		行動目標(事項による)					

※化学物質は使用していません。

環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の計画



電力による 二酸化炭素削減

数値目標と実績	達成状況
kg-CO2：目標 24,437 → 実績 26,688	×
kg-CO2/千円：目標 0.027→実績 0.031	×

おもな取り組み	達成状況
空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房25℃）	×
不用照明の消灯	○
PCモニターなどの待機電力の削減	○
事務プロセスの見直しによる職場環境の改善	○

空調温度の適正化に努めたが、夏季は室内温度の上昇により、時折27度設定にする日々が続いた。不用照明の消灯など、昨年度より取り組んでいる活動を行い、引き続き、節電活動に取り組む。

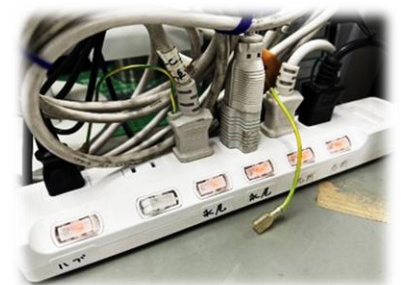
CHECK



空調温度の適正化



節電ポスター掲載



待機電力削減対策



自動車燃料による 二酸化炭素削減

数値目標と実績	達成状況
kg-CO2：目標 19,429→実績 13,089	○
kg-CO2/千円：目標 0.019→実績 0.015	○

おもな取り組み	達成状況
エコドライブの浸透	○
効率的なルートで配送	○

軽油車両の使用をやめ、効率的な運用をに努め、二酸化炭素を大幅に削減できた。引き続き、エコドライブ講習を行い、燃費向上に努めるようにする。



一般廃棄物の削減

数値目標と実績	達成状況
kg：目標 2,176→実績 2,191	×

おもな取り組み	達成状況
分別の徹底	○
梱包ミスによるゴミ発生の防止	○

一般ゴミの大部分が紙類(48%)入荷などの段ボール(44%)を占めた。今後働き方などで、紙類の低減に努める。



複合機出力枚数の削減

数値目標と実績	達成状況
枚：目標 143,606→実績 105,458	○

おもな取り組み	達成状況
帳票の見直しによる印刷物の削減	○
ファイルサーバーを構築しデジタル化推進	○

FAXの受信は全てPDFで保管し、仕入先等への発注書も電子ファックスによる送信で紙出力削減に取り組んだ。また、データによる授受を積極的に行い、ファイルサーバーでデータを管理するよう、働き方を改善した。次回は、出荷時に発生する紙類の低減にチャレンジする。



水道水の削減

数値目標と実績	達成状況
m ³ ：目標 593→実績 629	×

おもな取り組み	達成状況
節水シールの貼り付けとポスター掲載	○

引き続き節水に取り組み、目標達成を目指す。

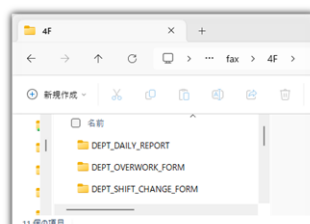
CHECK



ゴミの分別の徹底



節水ポスター掲載



FAX受信は全てPDF化



執務室の書類棚撤去

環境に配慮したサービスの取り組み

おもな取り組み	達成状況
一括配送の継続	○
梱包材の再利用	○

段ボール箱の再利用や、一括配送の取り組みにより、ゴミの削減やCO2の排出低減に貢献できるようにする。

CHECK



空箱を保管し、社内配達時に再利用



一括配送のため、店舗ごとに一時保管場所を設置

課題を解決しチャンスを活かす取組

おもな取り組み	達成状況
顧客からの信頼向上	○
企業価値向上による新規顧客獲得	○
社内教育・環境の充実化	○

顧客の信頼を得られるよう取り組んでいる。また、人事制度の改定により、社内教育やキャリアビジョンの明確化に取り組んだ。

CHECK



大阪関西万博に出店し
NHKより取材を受ける



大阪府知事より優秀者として
選ばれた従業員



顧客よりいただいた感謝状



本社にスナックコーナーを設置

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反, 訴訟の有無

適用される法規制	適用される事項(設備・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
顧客要求事項	環境管理・品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

また、外部や近隣住人より環境上の苦情や要請はいただいたことはありません。

緊急事態対応の試行・訓練

実施日

2025年1月24日 14:55

実施場所

本社・工場

実施内容

避難訓練

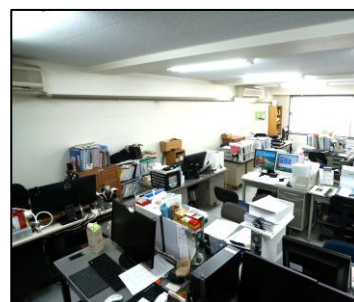
震度5程度の想定で、本社・工場より事前に展開した経路で近隣の公園へ避難し、安否確認を実施。

評価

今回は、火災箇所数、負傷者数を告げず避難訓練を実施。(火災2か所、負傷者0名) 実際は現場の状態が不透明なため、よりリアルな環境訓練を実施。そのため、避難時間が10分を超えると想定したが、9分で全員が避難場所へ移動できた(昨年は16分) 次年度は、より自衛防災隊を機能するよう組織を改善する。

14:55ごろ

地震、ワンアクション



14:57ごろ

初期消火



15:02ごろ

一時避難場所へ避難



15:04ごろ

本部長へ報告する各班長



代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	達成状況	2024年度の評価と見直し・指示
電力による二酸化炭素削減	×	夏季などの室内温度の上昇にともなう室温設定のルールを再設定する
自動車燃料による二酸化炭素削減	○	引き続き、効率的な運搬ルートでエコ運転を努める
一般廃棄物の削減	×	紙類の廃棄の低減に努める
複合機出力枚数の削減	○	ペーパーレス業務推進していく
水道水の削減	×	引き続き、節水に取り組み目標達成を目指す
環境に配慮したサービスへの取り組み	○	一括配送と梱包箱の再利用を実施 引き続き、取り組んでいく
課題を解決しチャンスを活かす活動	○	顧客の信頼と満足を得られるよう取組んでおり 引き続き取り組んでいく

社内全体でエコアクション21の取り組みを円滑かつ効率的に進めるためには、まず取り組む目的を明確にすることが不可欠です。目的が曖昧なままでは、継続的なデータ管理や運用に負荷がかかり、結果として管理不足に陥りやすくなります。

一方で、エコアクション21の取り組みを営業戦略の一部として活用できれば、環境負荷の低減と諸経費の削減を同時に実現できる仕組みになると考えます。この点において、コストを抑えつつ本格的な環境経営に取り組みたい当社のような中小企業にとって、エコアクション21は非常に適した国内規格であると言えます。

今後、取り組みを継続的に進めていくためにも、エコアクション21の意義を社内に周知徹底し、環境改善と経営効果の両立を図っていきたいと考えています。

代表取締役 山田 雅己
実施日：2025年7月10日

環境経営方針 変更なし 変更あり

環境経営目標・計画 変更なし 変更あり

実施体制 変更なし 変更あり

これまでの環境活動の紹介



自然循環素材をつかった商材 東日本大震災時にローソクを寄付



株式会社山田念珠堂

大阪府大阪市天王寺区東高津町6-13

TEL. 06-06768-1605

<https://www.nenju.co.jp>

